

指定管理者の管理運営に対する評価シート

所管課	農林水産部 農地農振室、農山漁村・担い手支援課
評価対象期間	平成23年4月1日～平成27年3月31日

1 指定概要

施設概要	名称	大分農業文化公園及び大分県都市農村交流研修館	施設種別 農林業振興
	所在地	杵築市山香町大字日指1番地1	
	設置目的	(大分農業文化公園) 豊かな自然と親しみながら農業・農村の文化等に関し学習する機会を提供することにより、農業・農村及び自然環境に対する県民の理解を深めるとともに、新しい農業・農村づくりに資する。 (大分県都市農村交流研修館) 都市と農村との交流の促進を図るとともに、農村女性の能力の開発及びネットワークの形成に資する。	
指定管理者	名称	(公社)大分県農業農村振興公社	
	代表者名	渡辺 哲也	
	所在地	大分市舞鶴町1丁目4番15号	
指定管理業務の内容	①施設等の利用、農業・農村に係る情報の提供、都市と農村との交流の促進、研修に関する業務 ②農業文化公園及び都市農村交流研修館の施設等の維持管理及び修繕に関する業務 ③農業文化公園及び都市農村交流研修館の利用受付及び案内に関する業務 ④農業文化公園及び都市農村交流研修館の利用の許可に関する業務 ⑤農業文化公園及び都市農村交流研修館の利用の促進に関する業務 ⑥その他知事が特に必要と認める業務		
料金制度	利用料金 ・ 使用料 ・ 該当なし		
指定期間	平成23年4月1日～平成28年3月31日(5年間)		

2 評価結果

評価項目及び評価のポイント	配点	評価レベル	得点
1 施設の設置目的の達成(有効性の向上)に関する取組み	40		20
(1)施設の設置目的の達成			
①計画に則って施設の管理運営(指定管理業務)が適切に行われたか。また、施設を最大限活用して、施設の設置目的に沿った成果を得られているか(目標を達成できたか)。			
②施設の利用者の増加や利便性を高めるための取組みがなされ、その効果があったか。	20	3	12
③複数の施設を一括して管理する場合、施設間の有機的な連携が図られ、その効果が得られているか。			
④施設の設置目的に応じた効果的な営業・広報活動がなされ、その効果があったか。			
【評価の理由】 〈大分農業文化公園〉 ○平成26年度の入園者数は278,670人で、平成25年度より39,015人増加したものの、目標指標330,000人に対する達成率は84.4%となった。平成23年度からの平成26年度までの年間平均入園者数は269,864人で、目標指標に対する達成率は81.8%であった。しかし、イベントの平日実施や拡充、雨の日でも椿を鑑賞できるように花昆虫館内に「椿花咲苑」を設置するなど、入園者数の増加に向けた取組みを行っていることは評価できる。			

- 利用者の増加を図る取組として様々な自主事業を実施している。毎年おこなっている季節のイベント(夏休みこどもパーク、収穫祭など)に加え、各種イベントを実施しており、実施数も計画を上回っている。また、イベントのマンネリ化を防ぐため定期的にイベントの差し替え、内容の変更をおこなうなど工夫をおこなっている。平成26年度からは更なる利用者増化、満足度向上のため、平日のイベント開催にも取り組んでおり、利用者増加に結びつけている。
- 平成23年より公園内の日陰対策として、サービス改善事業で毎年パラソル4基とベンチ8基をみどりの広場及びボート乗り場に設置し、公園利用者からも好評を得ている。また、園内マップをリニューアルし、エントランスなどの園内各所に配置し、園内施設を利用者に分かりやすくするなどサービス向上を図っている。以上のように、利用者が快適に過ごすことのできる施設にするための取組を行っている」と評価できる。
- 営業・広報活動については、保育園・幼稚園、福祉施設、旅行会社などに集客のための働きかけをおこなっている。特に県内外バス会社・旅行会社・旅館等に訪問をおこなうなど、園長・担当ともに積極的に営業活動をおこなうことで、団体客の誘致・県外からの来園者獲得にも取り組み、集客に結びつけている。また、ホームページ上で施設の紹介、イベントや講座開催の案内を行い、ブログ等でも開催状況などを紹介している。

〈大分県都市農村交流研修館〉

- 利用者数については、23年度27,597人、24年度27,794人、25年度26,305人、26年度28,301人となっており、前指定期間(H18～H22)平均の18,350人をいずれの年度も上回っており、評価できるものである。
- 利用者の増加を図る取組としては、次のような取組を行った。
 - ①講座の案内パンフレットを前年度利用者に配布してリピーターの増を図った。
 - ②子供向け体験講座をイベント開催時に合わせた。また、夏休み自由研究向けに特化するなど工夫した。
 - ③県内主要郵便局60カ所をはじめ市役所、JA、公民館などに貸館を積極的にアピールし、パンフレットを配布するなど周知を図った。
 - ④定期的にマスコミ等を訪問し、PRに努めた。

(2) 利用者の満足度

①利用者アンケート等の結果、施設利用者の満足が得られていると言えるか。	20	2	8
②利用者の意見を把握し、それらを反映させる取組みがなされたか。			
③利用者からの苦情に対する対応が十分に行われたか。			
④利用者への情報提供が十分になされたか。			
⑤その他サービスの質を維持・向上するための具体的な取組みがなされ、その効果があったか。			

【評価の理由】

〈大分農業文化公園〉

- 平成26年度に入園者を対象にアンケートを実施したところ、55%が「大変満足」、35%が「ほぼ満足」、7%が「普通」、1%が「やや不満」、0%が「不満」という結果であり97%が普通以上の評価となっている。平成25年度のアンケート結果と比較しても、利用者の満足度の向上、不満の減少が見取れる。しかし、アンケートの集計数が23年度の272件、24年度の405件、25年度は517件に対して26年度が877件と集計数が増加している点は評価できるが、入園者数の割には依然として低いままなので、今後もアンケート回収率の向上にむけた継続的な取組みが求められる。
- より細かな分析をおこなうために、アンケート用紙の記載内容を見直すなど工夫をし、得られたアンケート結果から効率的な広報活動や魅力的なイベントの企画に役立てていると評価できる。アンケートで要望があった、身障者の駐車場に屋根を2台分設置したり、福祉施設からの要望の多かった「おむつ交換所」を物産館内に新たに設置するなど、利用者からの意見、要望を反映する取組を行っている。
- 利用者への情報提供としてはホームページによる施設の紹介、イベント・講座の案内、SNSを活用した情報提供に加え、各種広告媒体(テレビ・ラジオ・新聞・雑誌等)による、イベント・講座の告知活動などを実施してきた。また、営業活動を通じて情報提供に努めている。

〈大分県都市農村交流研修館〉

- 目標指標である「受講定員充足率」は、23年度96%、24年度90%、25年度95%、26年度94%で、目標の80%を大きく上回っている。また、「研修満足度」も、23年度91%、24年度94%、25年度92%、26年度93%で、目標の80%を上回って推移しており、いずれも評価できるものである。
- 各講座の受講生に対し、随時、アンケート調査を行っており、特に食に関係する講座の人気の高さは、満足度の高さの反映と思われる。
- 講座受講生の声を反映して、受講者決定方式を従来の先着順から抽選方式に変更したことで申込者の機会均等が図られ、苦情が減った。また、講座ごとに5回ずつ通して連続受講できるように変更したことで、受講生の学習・理解が深まったと思われる。

2 効率性の向上等に関する取組み	30		20
<p>(1) 経費の低減等</p> <p>①施設の管理運営(指定管理業務)に関し、経費を効率的に低減するための十分な取組みがなされ、その効果があったか。</p> <p>②清掃、警備、設備の保守点検等の業務について再委託が行われた場合、それらが適切な水準で行われ、経費が最小限となるよう工夫がなされたか。</p> <p>③経費の効果的・効率的な執行がなされたか。</p>	20	3	12
<p>【評価の理由】</p> <p>〈大分農業文化公園〉〈大分県都市農村交流研修館〉</p> <p>○施設の管理運営に関し、経費(主に光熱水道費)を縮減するための取組みがなされている。</p> <p>○年間支出合計については、平成26年度は前年より3,125,685円増加した。これは消費税の増税により、支出が増加したことが主な要因であると考えられる。これまで経費低減のために平成23年度からは、清掃業務について委託せずに直営とし、また警備・設備保守点検等の業務に関しても複数年での委託契約を締結するなどの取組をしてきた。</p>			
<p>(2) 収入の増加</p> <p>①収入を増加するための具体的な取組みがなされ、その効果があったか。</p>	10	4	8
<p>【評価の理由】</p> <p>〈大分農業文化公園〉</p> <p>○26年度の売上額は75,624,622円であり、25年度の売上額75,723,963円から99,341円減少した。入園者一人あたりの販売単価でも平成26年が271円(4年平均288円)と落ち込んでいる。しかし、これまで飲食収入を伸ばすことを目的として、公園で生産した農産物を活用した、ジュースやソフトクリームなどの目玉商品開発や、公園産の椿を使用した椿関連グッズの販売など収入増加に向けた取組をおこなっている。</p> <p>○施設利用についても、コテージ・キャンプ場等の稼働率を上げるために、積極的な営業活動を行い、県外からの施設利用者を増やしている。</p> <p>〈大分県都市農村交流研修館〉</p> <p>○貸館利用収入は、23年度828千円、24年度764千円、25年度815千円、26年度1,004千円で年々増加している。福祉施設などに、貸館利用の積極的な営業活動を行って収入を上げるという取組みが、少しずつ成果を上げていると思われる。</p> <p>○一方で、施設の稼働状況は23年度51.5%、24年度55.3%、25年度50.6%、26年度50.6%と各年度とも50%台となっており、まだまだ利用拡大の余地があり、より一層の利用拡大に向けた営業活動が求められる。</p>			
3 公の施設にふさわしい適正な管理運営に関する取組み	30		24
<p>(1) 施設の管理運営(指定管理業務)の実施状況</p> <p>①施設の管理運営(指定管理業務)にあたる人員の配置が合理的であったか。</p> <p>②職員の資質・能力向上を図る取組みがなされたか。</p> <p>③地域や関係団体等との連携や協働が図られたか。</p>	15	4	12
<p>【評価の理由】</p> <p>〈大分農業文化公園〉</p> <p>○入園者の多い土日祝日や、GW・夏休みなどの繁忙期に人員を多く配置するなど、業務量に応じた体制としている。</p> <p>○職員の資質・能力の向上のための研修会等を行っている。26年度は合計13回実施した。</p> <p>○地域や関係団体等との連携や協働について、以下の取組みを行っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・別府大学と提携し、夢米棚田プロジェクトの活動として、公園内の棚田で米及び七島イの植え付けから収穫を行った。 ・杵築市教育委員会と連携し、駅伝大会を開催した。 ・地元の自治会・学校など連携し、収穫体験などを実施し、地域との交流を図った。 <p>〈大分県都市農村交流研修館〉</p> <p>○各種講座には講師として農村女性をはじめ、地元の人材、食材、伝統料理を最大限に活用している。また、農業団体、NPO、県などと連携した研修会や農山漁村女性グループと連携したイベントの開催など、目的に沿った適正な運営が行われている。</p>			

<p>(2) 平等利用、安全対策、危機管理体制など</p> <p>①関係法令(地方自治法、労働関係法令、通則条例、設置条例等)が遵守されているか。</p> <p>②施設の利用者の個人情報を保護するための対策が適切に実施されているか。</p> <p>③利用者が平等に利用できるよう配慮されていたか。</p> <p>④施設の管理運営(指定管理業務)に係る収支の内容に不適切な点はないか。</p> <p>⑤管理物件の修繕や日常の事故防止などの安全対策が適切に実施されていたか。</p> <p>⑥防犯、防災対策等の危機管理体制が適切であったか。</p> <p>⑦事故発生時や非常災害時の対応などが適切であったか。</p>	15	4	12			
<p>【評価の理由】</p> <p>〈大分農業文化公園〉〈大分県都市農村交流研修館〉</p> <p>○ 個人情報の取扱いについて、公社策定の「個人情報保護規程」の徹底を図っている。入園者向けには「個人情報の取扱いについて」と題した情報セキュリティポリシーを4箇所に掲示しており、その遵守に努めることとしている。なお、これまで漏洩等の事故は発生していない。</p> <p>○ 施設の利用受付に当たっては、施設設置条例及び関連規定等を遵守し、利用目的を確認し、公平・平等な取扱いを行っている。</p> <p>○ 安全管理については、施設管理や防火管理、事故対応マニュアル等を整備、またインフルエンザや食中毒、口蹄疫等、特別の事象についても個別のマニュアルを整備している。</p> <p>○ エントランスにAED(自動体外式細動器)を設置している。</p> <p>○ 個人名を記入するアンケートは集計後にシュレッダーにかけるなど、個人情報の管理は徹底されている。</p> <p>○ 普通救急講習会をはじめ年間13回もの研修・講習会を開催し、職員の資質向上に努めている。</p>						

【選定委員の意見】

- 大分農業文化公園及び大分県都市農村交流研修館が連携し、自然観察や体験学習を実施しており、その場所ならではの教育施設として、役割を果たしていると考えます。
- イベントについて今後は大人を対象としたイベントも拡充していくとよい。
- 安全対策・危機管理体制など適正な施設の管理運営に取り組んでいると評価できる。今後も不足の事態に備え、事故のない安全な運営に努めてもらいたい。
- 世界農業遺産関連の展示が充実し、国東半島宇佐地域世界農業遺産を理解する上でもかけがえのない施設となっている。

【総合評価】

合計得点(100点満点)	64	評価ランク(A~E)	C
〔評価の理由〕			
<p>〈大分農業文化公園〉</p> <p>○ 施設の管理運営については、法令や規則、マニュアル等に基づき適正におこなわれていると評価できる。入園者数は目標指標に対して未達であるが、県内外への広報活動の強化などに加え、世界農業遺産に関連するイベントを実施したり、これまでのイベントも見直し・刷新を行うなど、利用者拡大に積極的に取り組んでいると評価できる。また、アンケート結果などからもこれまでの様々な取組の結果、利用者の満足度も高まってきていると評価できる。</p> <p>〈大分県都市農村交流研修館〉</p> <p>○ 事業については、その設置目的にそって、より大分県都市農村交流研修館らしさを追求した講座の内容と地域人材の活用を進めてきた結果、講座によっては、他県からの受講生もあるなど、一定の成果をあげている。また、農山漁村女性のキャリアアップに向けた研修やイベントに積極的に取組み、女性の能力開発と経営意欲の向上に貢献している。</p>			
〔今後の対応〕			
<p>〈大分農業文化公園〉</p> <p>○ 引き続き県内外への広報活動の強化、イベントの工夫などに力を入れ、多くの人に訪れて頂くことの出来る公園作りを通じて年間利用者330,000人の達成を目指していく。</p> <p>○ 世界農業遺産関連のイベントなど公園のコンセプトにそった事業を積極的に実施することはもちろん、これまで以上に創意工夫に富んだイベントを実施することで、より多くの利用者に農業にふれ、理解・興味を持って頂ける機会を提供できる公園となるために全職員が一丸となって取り組んでいく。</p> <p>〈大分県都市農村交流研修館〉</p> <p>○ 事業については、引き続き、農業をベースに独自性と質の高さを追求した展開を期待する。また、そうした事業が、より広く、一般県民に伝わるよう、例えば、農村女性のネットワークを活用した広報など、より効率的、効果的な方法へ強化することが望まれる。 一般向けの貸館営業活動について、成果が現れつつあるので、今後とも継続していく必要がある。</p>			

【指定管理者評価部会の意見】

- 目標指標は高い水準にあることは理解できるが未達であり、さらなる工夫が必要である。
- アンケートの回収率が他の施設と比べて低く、満足度が高いと評価できない。
- アンケートの回収率が極めて低い(入場者数の0.3%)。リピーターを増やすという観点からも、アンケートとして有用な母数を集めた上で、分析する必要がある。必要となる母数や収集の方法についても改善されたい。
- ホームページを閲覧する際、読み込みに時間がかかるページや、スマートフォンだと見にくいページがあったため改善が求められる。
- 利用の落ち込む時期の対策が必要である。2月、3月は樺まつりで集客できたとのことであるが、そのほかにも落ち込みが大きいところにイベント等の対策が必要。その際には、集客効果の薄いイベントのスクラップも必要。
- 利用者として施設を使用した際に遊具で危ないと感じる事案があった。安全点検を再度見直しされたい。
- 多数の方が集う施設であり、障害者権利条約に基づき求められる合理的配慮にも率先して対応の検討を進められたい。